

【今週の注目疾患】

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2016年42週の県全体の定点当たり報告数は、41週の2.06から増加し2.62となった。過去4年の同時期と比較し多い。季節変動性があり、冬から春にかけて患者が増加する¹⁾ため、今後の流行状況に注意が必要である。

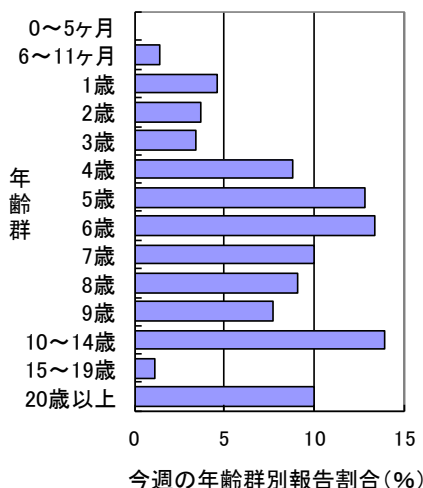
保健所別では、16保健所中10保健所管内で増加し、長生(7.75)、柏市(5.56)、夷隅(4.67)、船橋市(4.27)、山武(4.17)、君津(4.00)、海匝(3.25)、松戸(2.63)、印旛(2.63)が多い。

2016年42週に報告された351例の性別は、男性194例(55.3%)、女性157例(44.7%)で、年齢群別では、4～9歳が217例で61.8%を占めていた。

<参考>1) 病原微生物検出情報(IASR)溶血性レンサ球菌感染症 2012年～2015年6月

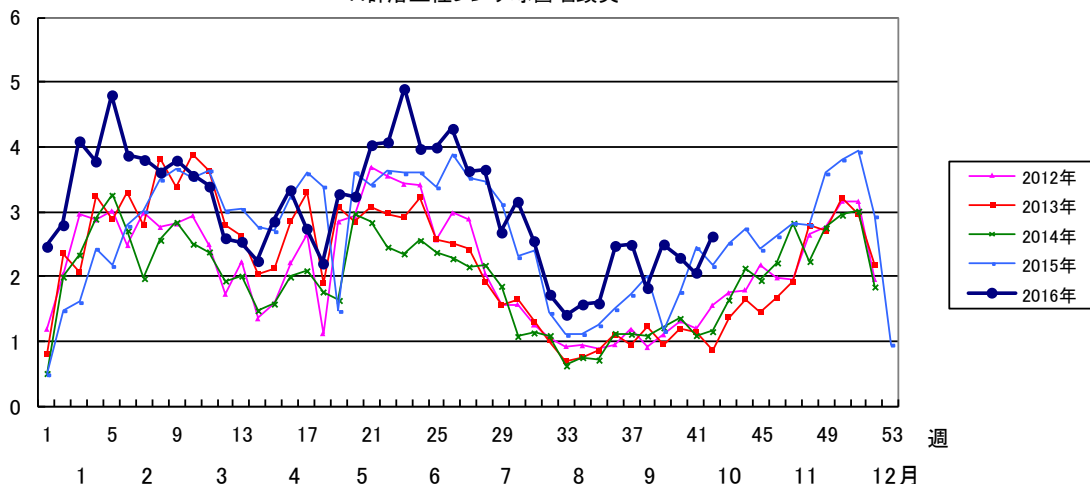
URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/group-a-streptococcus-m/group-a-streptococcus-iasrtpc/5843-tpc426-j.html>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



定点当たり報告数

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□第38週 □第39週 □第40週 □第41週 ■第42週

